



ふれあい'なのかいち



区民の『ふれあい』は公民館活動にて・・・

七日市場地区公民館長 丸山 正博

今年度、地区公民館長の大役を仰せつかり本当にやっつてゆけるのか、大変不安ではありますが、この一年間を地域の皆様、より一層のご指導、ご協力を得ながら、館長としての任務を遂行して参りたいと思っております。

『魅力的な唇を手に入れるためには、優しい言葉を話すこと。美しい瞳を手に入れるには、相手の長所を探すこと。』なぜ、この様な一節を載せたかと申しますと、殺伐とした現代社会、他人とのかかわりが面倒、にがてだという人が増えていると聞きます。一方、そうしたいのに機会がないという方もいらつしやるのではないのでしょうか。今年度の公民館のテーマとして、各専門部の行事を通じて、より多くの方との「ふれあい」の場を提供したいと考えております。また、区民の皆様の大切なお金（予算）を使わせて頂くわけですので、各部会を通じて、より魅力のある事業内容にしてゆきます。この一年公私ともに多忙とは思いますが、是非とも一人でも多くの方に参加を頂き、お力添えを宜しくお願い致します。尚、今年度新たに、副公民館長に四の四組齊藤勝男さんが就任いたしました。ここに紹介して今後とも、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



副公民館長
齊藤 勝男



「区長を引受けて一年」

代表区長 細田 國夫

今年の春は桜の開花も早く、早々と暖かくなったかと思われましたが、観測史上最も遅い積雪が有り、寒い日が続き異常気象という気がします。

私は昨年、順番とのことで区長を引受け、農家ということで農政区長となり、

平成二四年度より始まる二期目の「農地水保全管理支払交付金」に取り組むことになりました。他の区長、農業団体役員、土地改良区役員、各水路の担当者、公民館長さん等にお集まりいただき、七日市場区としての方針についてお聞きしました。その結果、そのような良い事であれば、是非取り組むべきだとの意見が強く、市よりの説明会を行い、農業関係者及び「農地水保全管理支払交付金」の導入の賛同者で役員会を作り、七月二十九日には設立総会を開催しました。八月には水路法面の草刈りを行い、また、使われていない農地への花壇作り及び蕎麦の作付、十二月からは用水路のU字フリームの敷設されていない所の整備、三月には用水路に有る柵に堆積した土砂上げを行い、区民百八名もの人々の協力のおかげで、土砂を二ト車四台ほど処理できました。

本年においては、代表区長とのことで、年長ということもあって引受けたものの、仕事が多く、私には任が重く、務まるか心配ですが、他の区長の方々の協力のもとに、七日市場区民の人々が、この地に住んで良かったと思われる区にしてゆきたいと思えます。皆様のご指導、ご鞭撻を賜り、また、区民の皆様のご健康とご活躍を祈念申し上げます。



「文化部ってなにをするの」

文化部長 佐藤 貞雄



今年度、文化部長を勤めさせて頂くことになり驚愕している佐藤といひます。

七日市場に越してきて十八年になります。今まで地区の活動には消極的でしたので、まさかこのようなことになろうとは、正直愕然としています。題名どおり、【なにをするの】の世界ですので、関係する方々にはご迷惑をおかけすることと思ひますが、何卒、ご指導よろしくお願ひいたします。

活動内容については、5月の敬老会、そして8月の盆踊り講習会、夏祭り盆踊り大会が例年どおり開催される予定となっております。公民館三役のご指導のもとに役員、部員が現在、準備を進めています。

こういった活動が、今後どのような方向に向かつていったらいいのか、という根本的な疑問もあることはあるのですが、とにかく今は、今年度の行事が良もなく不可もなく、無事に終わってくださることを祈っている次第です。何卒ご協力の程宜しくお願ひ致します。

なお、副部長は次の方々です。

一一二 江崎 卓 さん
七一 高山 温子 さん

「スポーツで気分爽快」

体育部長 星 裕之



今年度、体育部長を務めさせていただくことになりました。星です。

慣れない部長という大役を引き受けることになり不安もありますが、役員の方々、区民の皆さまと協力しあい、楽しいスポーツイベントを行うことができたいと思ひます。私自身、昨年度に「軽スポーツ大会」でワンバウンドふらばるバレーに参加し、体を動かす爽快感、地域の方々の交流の大切さを実感しました。

本年度も「軽スポーツ大会」「公民館対抗スポーツ大会」「市民運動会」「卓球大会」などの行事が目白押しです。是非お気軽に参加して爽快気分を味わうと共に、多くの方々の交流を深めていただきたいと思います。

最後になりますが、一年間頑張りますので、ご協力の程宜しくお願ひ致します。

なお、副部長は次の方々です。

三二 三澤 治人 さん
二一五 塚田 由美 さん

「初めて出た卓球大会」

八一 松尾 奏奈

私は、初めて地区の卓球大会に出ました。

最初はとてもきんちようして、しんぞうがバクバクして、とび出しそうなほどふあんな中、周りの人たちは、勝ち負けなく楽しそうに試合をしていました。

いつもはおうえんだけでしたが、去年から卓球を始めた私は、地区の卓球大会にでられてとてもうれしかったです。若い年も、ゆうしようして、みんなと楽しく思いでに残るようがんばりたいです。



卓球大会 (体育部)
【2013年1月27日】



「女性の体と心を元気に」

女性部長 翠川 美幸



今年度、女性部長を務めさせて頂く事になりました。今年一年無事に努めていけるかどうか、とても不安ではありませんが、部員の皆さん方の力を借りながら、一年間なんとか頑張っていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

今年も例年同様、六月と十二月に女性学級を開催する予定です。六月には「笑いヨガ」を行い、体も心もスッキリしていただきたいと考えています。十二月には例年同様フラワーアレンジメントを予定しています。

行事を通して、女性たちの心も体も元気で健康になればと考えております。

一年間無事に務めることができます様、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

なお、副部長は次の方々です。

- 一―十二 小山 愛 さん
- 六―一 萩原 京子さん



「暮らしにプラスワン」

生活産業部長 徳原 博文



このたび、生活産業部長を務めさせて頂く事になりました。徳原でございます。

生活産業部では、役員、部員の全員が力を合わせ地域の皆様の生活に役立つような催し物、講習会等を開催し、少しでも日々の暮らしのプラスになるような活動を行いたいと考えております。

年末恒例の「しめ縄講習会」、今年も十二月に予定します。単に作る事だけを目的とせず、新しい年を迎えるにふさわしい「しめ縄」を用途に合わせて作れるようにしたい。

また、暮らしに役立つセミナー等を九月に開きたいと考えています。

地区の皆様にご参加頂き、有意義な一年間としたいと思っておりますので、各種行事に対してご協力の程、よろしくお願い致します。

なお、副部長は次の方々です。

- 一―三 松下 ゆかりさん
- 三―六 岩原 久子さん



「公民館対抗スポーツ大会」

「リベンジ」

一―三 丸山 将司

あれはかれこれ二年前、分館対抗のソフトバレーで決勝戦まで進み、東小倉に敗れましたが二位になるという快挙。今回も同じメンバーで参加する事ができ、予選は一位通過、決勝リーグは準決勝で東小倉に負け、三位決定戦で北小倉に負け、四位という結果でした。楽しく競技に参加できたのですが、やはり負けは負けで悔しく、悔しさをバネに日々練習して、また参加できる機会があればリベンジしたいです。



冬季公民館対抗スポーツ大会 (体育部) 【2013年2月17日】



敬老会（文化部）
【2013年5月26日】

「初めての敬老会」

七―四 丸田 巧子

およそ五十名の仲間に入れて頂き、初めての参加です。

玄関に入るやいなや「履物はどうぞそのまま」と暖かな声かけの元、下駄箱に入れて下さいました。心ひとつに、それぞれ与えられた持場立場で、いそいそと務められる文化部の皆さんの姿に私は頭が下がる思いでした。

料理よし、余興よし、それにも増して招待者の楽しそうなオシャベリタイム、ビックリする程目も口も輝いていました。日本一の長寿県に乾杯、感謝！

「サークル」コーナー

《新規連載》

【七日市場球友活動】

家庭婦人バレーボール 小山 愛

私達、七日市場球友は、三郷地域で活動しているママさんバレーです。

主な活動は、毎年四月より開催されるリーグ戦です。今年もチーム一丸となって臨んでいます。

今、三郷地域の家庭婦人バレーボールは、参加者の減少により、参加地区が年々減っています。

そんな中、七日市場としてチームを衰退させない様に頑張っています。バレーが好きな方、興味をお持ちの方、お気軽にお問合せ下さい。



【諏訪神社例祭の変遷】

祭ばやし保存会会長 布山 幹夫

平成十四年の遷宮祭を機に、現在の保存会として復活し、今日まで十二年間経過しています。本年の例祭に参加し、盛大の内に祭ばやしを奉納しました。七日市場地区に古くから受け継がれてきた笛奏法及び太鼓打法の継承と祭りばやしを保存、普及し、無形文化財として、後世に伝えてゆくの保存会の使命と考えております。

例祭の運営の主体である神社総代の傘下での活動で、七日市場区の貴重な宝物として、保存継承の為に、区民（氏子）の皆様のご理解とお力添えを宜しくお願い致します。



諏訪神社例祭
【2013年4月29日】

“七日市場地区公民館のホームページを開設しました”

七日市場地区の皆さまへのお知らせと交流を目的として、6月1日に「安曇野市七日市場地区公民館ホームページ」を開設いたしました。

これまでと同様に広報紙「ふれあいのかいち」の発行も継続しますが、よりタイムリーな情報をカラー画像と一緒にホームページ上でお届けいたします。

ホームページのURLは次のとおりですので、パソコン、タブレット、スマホ、携帯電話（一部情報限定）からお気軽にインターネットでアクセスして楽しみください。

<http://nanokaichiba.wakwak.info/wordpress/>

《ホームページ掲載内容》

- ・公民館からのお知らせ
- ・公民館行事予定と報告
- ・各サークル活動紹介
- ・公民館報「ふれあいのかいち」の転載（予定）
- ・投稿（写真・動画） & 投稿へのコメント
- ・他サイトへのリンク：安曇野市HP、七日市場の歴史を学ぶ会HP（適宜追加）
- ・その他のコンテンツは順次充実させていきます



ホームページのイメージ画像

- * 本ホームページの運営・管理は七日市場地区公民館広報紙編集委員会が行います。
- * 本件に関するお問い合わせ先：広報紙編集人（主事）の松尾（77-5355、matsuo1731@yahoo.co.jp）

「七日市場の歴史(第二十八回)」

昭和初期の七日市場⑧

戦時下の生活(三)

曾根原 孝和

臨戦体制の推進

昭和十八年の耕地集會記録に「七日市区は、時勢の進展に即応し、部落常態態勢を取り入れ部落常會長をして耕地總代を兼任せしめ、従来三名の惣代を四名に改む」とあります。そして、任期を二か年として再選をさまたげない。

選出方法は推薦とし、推薦会を持つて行つていきます。また、「各組毎に伍長を置き、伍長は各組の互選とする」としています。

この頃はアメリカ軍の空襲が予想されるようになりしました。政府では地方でも来襲に備えて警戒通報・避難方法・焼夷弾による火災發生の場合の消火訓練等を通達していました。

これらが末端まで速やかに伝わるように組織されたものが、常会であり隣組組織であったのです。区では昭和十六年に決めた常会制をより強力にして、戦時下の国の臨戦体制と国策を推進しているのです。

祭典執行を四十歳に 昭和十九年の初集會記録には、次のことが記されています。

○ 祭典執行は、本年は数え年四十歳に繰り上げをなすこと。

○ 青年団の図書購入補助金を二十円に増額す。
○ 来年度の初集會には、各隣組より酒五合宛て持寄ること。

太平洋戦争が日を追つて厳しい状況に入りました。地区の青壮年も多数が出征し、青年會が行う祭典の執行が困難になり、年齢を四十歳に繰り上げて舞台曳きをし、翌二十年には中止をしています。

また、酒類は厳しい配給制度によつて自由に購入できません。そこで、初集會には各隣組から五合あて持ち寄り、全体では五升位のお酒を酌み交わして、ささやかでも心を通じ合う慰勞会をしていたのでしよう。

薪の運搬の勤勞奉仕 十九年十二月の評議員會では、温明国民学校の冬期暖房用の薪の運搬について、「勤勞奉仕をもつて搬出に誠意協力すること」「出不足は一日金四円とする」とあります。そして、運搬費の負担は出不足金で充て、出動は下の部落から順次行い、小倉山林から薪を搬出しました。運ばれた薪は、割つてストーブで焚き、児童たちが寒い冬を暖かく過ごしたのです。

【編集後記】

新年度が始まり早二カ月が過ぎ、「ふれあいなのかいち」第一号を発行する時がきました。

昨年度の公民館報についてのアンケート調査によつて、公民館報の利用のされかたを知るとともに、貴重なご意見をお聞きすることができました。今年度は、できることから改善・実施していきたいと思ひます。

先ず、皆さんからご要望が多くありましたサークル紹介コーナーを設置しました。また、よりタイムリーに綺麗な画像とともに多くの情報を掲載できるように、公民館報と並行してホームページも開設しました。七日市場区の皆さんの交流の場として活用していただきたいと思います。

今年も編集委員一同、一生懸命頑張りますので、宜しくお願ひいたします。

2013年6月16日
Vol.12 No.1 第33号

【発行所】 七日市場地区公民館
【発行人】 丸山 正博
【監修】 齊藤 勝男
【編集人】 松尾 学
【編集委員】
江崎 卓 (文化部)
塚田 由美 (体育部)
松下 ゆかり (生産部)
小山 愛 (女性部)
木船 章 (ボランティア)
花岡 正明 (ボランティア)
松尾 常德 (ボランティア)
丸山 博幸 (ボランティア)

ふれあい'なのかいち



夏祭り・盆踊り大会

『祭りのあと』

文化部長 佐藤 貞雄

八月十四日、諏訪神社境内において「夏祭り・盆踊り大会」が開催されました。初めてのやぐらの組み立て、そして部長の経験不足で、不安を抱えながらの準備でしたが、三役、部員、諸先輩の方々に助けられて、怪我もなく天候にも恵まれ無事終了することができました。大勢の方々にご来場いただき、心より感謝しております。日々変化することが当然の今日、変わってはいけないものがあることを実感させて頂きました。七日市場に感謝です。



七日市場地区公民館ホームページ1500アクセス達成！！

七日市場地区公民館では6月1日にホームページを開設し、これまでに1500件を超える記事の閲覧がありました。公民館関連行事を中心として、画像や動画でご紹介するとともに、年間行事計画や各サークルの紹介、公民館報のカラー版を掲載しています。今後ますます内容の充実に努めてまいりますので、七日市場地区にお住いの皆さんへの情報提供と交流の場として、大いにご活用ください。なお、閲覧は、パソコン、タブレット、スマホでできます。

検索キーワード【七日市場公民館】

<http://nanokaichiba.wakwak.info/wordpress/>

「第一回女性学級『笑いヨガ』」

女性部副部長 小山 愛

六月二日、コミュニティセンターにて、第一回女性学級を開催しました。今回はラフターヨガ認定ティーチャー池田信子先生をお招きして、「笑いヨガ」というあまり馴染みのない運動法についての講座でしたが、大勢の皆さんに参加していただきました。「笑いヨガ」は、笑顔をつくり、声を出すという新しくユニークな健康法のため、開始直後は照れる様子の方が多かったのですが、終わる頃には皆さんとても良い表情、顔色になりました。楽しい時間が過ぎて良かったです。



笑いヨガ教室（女性部）
【2013年6月2日】

「マレットゴルフ大会に参加して」

四一 吉澤 七三子

六月九日、黒沢マレットゴルフ場で大会が行われました。当日は天候に恵まれ、新緑の中すがすがしい空気をいっぱい吸い込み、合図と共に約三時間余りプレーが続きました。役員の方々の早朝からの準備に感謝しつつ、老いも若きもお子さんまで楽しいプレーができました。五グループに分かれ、真剣に汗を流し良いスコアができました。ホールインワンを出した方もいます。日頃のよい運動になりますし、地域のつながりにもなります。皆さんも挑戦してみませんか。



マレットゴルフ大会（体育部）
【2013年6月9日】

「触れあえた風船バレー」

一一 中島 清文

七月二十一日、社会体育館において、軽スポーツ（風船バレーボール）大会が開催されました。運動とは無縁の私ですが、我が家の子供二人と気軽に参加してみました。ルールも、やってみると意外と簡単で、小学生でも活躍でき楽しむことができました。また、一緒にチームになった組の方とも声をかけ合い、風船を中心になつた組の方とも声をかけ合いました。地域の方と共に笑い、共に汗を流す機会を作るために準備をしてくださった役員さん、審判の皆さんに感謝申し上げます。お疲れ様でした。



軽スポーツ大会（体育部）
【2013年7月21日】

「夏季スポーツ大会に参加して」

七日市場ソフトボール代表理事

近藤 宗

八月十八日、文化公園グラウンドと体育館において、三郷公民館対抗夏季スポーツ大会が行われました。種目は男性がソフトボール、女性がソフトバレーボールです。

いつもナイターの照明でプレーしている壮年期の我々は一回戦で敗退。他チームは、ナイターソフトのメンバーが不要なほど、若い野球青年やスポーツマンが参加しており、ある意味うらやましい光景でもありました。今後は、七日市場に住む若いアスリートたちが、この大会だけでなく、地区の体育行事に積極的に参加されることを期待します。



夏季スポーツ大会（体育部）
【2013年8月18日】



「血管元氣！」

一七 牛越 克子

九月八日、生活産業部主催の生活に役立つセミナーに参加しました。セミナーのテーマは「血管元氣！バランス食く食べ物と血液の深い関係」でした。

講師の先生のお話では、「毎日の食生活の中で、肉、魚は一日五十グラム、野菜は四百五十グラムとるのが良い」とのことでした。この量はなかなかできませんが、これからはできるだけ、バランスの良い食事をとるようにしたいと思います。

《バランス食》 秋刀魚は半分・・・



生活に役立つセミナー（生活産業部）
【2013年9月8日】

『サークル』コーナー

「十二年目の七日市場コーラス」

七日市場コーラス代表 神村 節子

恒例のみさとコンサートへの出演はもうすぐ、曲目は「時代」「希望のささやき」です。ジョークとレクリエーションを交えながら分かりやすく丁寧にご指導くださる丸山多恵先生、吉澤綾先生を含めて私達二十一名の部員も一生懸命です。ふとこの十二年を振り返ってみますと、歌える幸せ、楽しい仲間作り、そして地区ボランティアに揃って参加させて頂けること、いいことばかりです。

七日市場の皆さん、一緒に歌いましょう。お待ちしております。



「七日市場の歴史(第二十九回)」

昭和中期の七日市場①

曾根原 孝和

太平洋戦争終結 昭和二十年(一九四五)八月十五日、日本がポツダム宣言を受諾して太平洋戦争は終結しました。この日の正午、全国にラジオから「堪え難きを堪え、忍び難きを忍び…」という天皇の放送(玉音)が流れ、昭和六年(一九三一)の満州事変から日中戦争を経て一五年にわたる戦争が終わったのです。



ラジオ (三郷民俗資料館蔵)

この日は、人々が多くの犠牲や統制された苦しい生活から解放され、いろいろな思いの中、新しい生活を求めています。こうと決意した日でもあったのです。

新しい出発を 七日市場では、年が明けた二十一年二月五日の耕地集會、続いて十日の初集會でいくつかのものを決め、新しい出発をしています。主なものは次のとおりです。

○部落常會制を廃し耕地惣代制にする。定員四名、任期一年。選出は公選で南北部各二名。

○氏子総代は氏子の公選により、南北部各二名、任期三年。

○評議員は隣組毎に二名、公選により任期は一年。

○青年會よりの申し出を決定

・黒板を新調し、書庫購入補助は七拾円。

・祭典余興費は耕地の寄付金で行う。

・太鼓練習費及木炭費は農家一戸当たり米一合、非農家は五十銭。

部落常會制を耕地惣代制に改め、耕地の役員を公選にし、区のことを区民皆で決めていくようにしています。また、青年達も要望を出し、以前からの図書館の運営にも積極的に関わり、耕地の支援を受け、新しい地域づくりに前向きに取り組んでいったことが分かります。

神社境内の立木伐採 四月臨時耕地集會が開かれ、氏子総代の提案で、立木を鎮守の森の尊嚴と風致を害さない程度、三分の一程度伐採することを決めていきます。

編集後記(生活産業部)

日増しに秋の深まりを感じる季節となりました。

六月から行われている各部の行事も、多くの方々のご協力、ご参加により無事終了しました。ありがとうございました。引き続き、人権講習會、フラワーアレンジメント、しめ縄作りなどの行事がありますので、奮ってご参加をお待ちしております。

また七日市場地区公民館ホームページにて、タイムリーな情報をお届けしておりますので、是非アクセスしてみてください。

最後に、文化部長の「七日市場に感謝」という気持ちが少しでも多くの方に持っていただけるような行事がこれからも続けていけたらいいと思います。



七日市場地区公民館報
ふれあい なのかいち

2013年10月20日
Vol.12 No.2 第34号

- 【発行所】七日市場地区公民館
- 【発行人】丸山 正博
- 【監修】齊藤 勝男
- 【編集人】松尾 学
- 【編集委員】

江崎 卓	(文化部)
塚田 由美	(体育部)
松下ゆかり	(生産部)
小山 愛	(女性部)
木船 章	(ボランティア)
花岡 正明	(ボランティア)
松尾 常德	(ボランティア)
丸山 博幸	(ボランティア)



ふれあい'なのかいち



七日市場区自主防災会防災訓練

自主防災会本部長 細田國夫

七日市場自主防災会において去る十一月四日に第四回防災訓練を行い、多数の参加をいただき有難うございました。天気が心配されましたが、いざ始まると雨も止み、順調に初期消火訓練が出来ました。また、応急救護講習も皆さん積極的に訓練され、災害や事故が有った時等に役に立つのではないのでしょうか。今後色々な訓練を取り入れて災害等に備えていきたいので、防災訓練への参加をよろしく願います。



消火栓操作



応急救護(三角巾)



応急救護(担架)



AEDによる心肺蘇生法*



消火器操作

*AED使用方は七日市場地区公民館ホームページに実演動画で掲載しています。

<http://img.gg/oE9jt9l> に直接アクセスしてもご覧いただけます。

七日市場地区公民館ホームページ 検索キーワード【七日市場公民館】

<http://nanokaichiba.wakwak.info/wordpress/>

「高齢化社会を生きる」

二―三 木船 章

人権講演会に参加し、百歳以上の三名の方の生き方を聞き、考えさせられました。

人間、年を取ると自己中心的な考えになると思われます。楽しく生きるため、相手へ感謝の気持ちで接し、押し付けでなく見守る気持ちで、積極的に人と関わる事が必要だと思います。老化と老いの違いは、体の衰えと心の衰えで、老化は避けようがありませんが、老いは防止できるそうです、その特効薬は【感動】だそうです、年齢と共に老化は進みますが、老い防止のため常に心に刺激を与えて生きたいものだと思います。



人権講演会（公民館総務）
【2013年11月24日】

「プリザーブドフラワー作成」

女性部長 翠川 美幸

十二月一日、第二回女性学級として「フラワーアレンジメント教室」を開催しました。

どんなふうにするのか、皆さん参加してくださるのか不安でしたが、二十八名の方に参加していただき、何とか無事に終わることができました。

簡単に出来るだろうと思って始めましたが、なかなかくっつかなかったり、はまらなかつたりと悪戦苦闘しながらも、作品を仕上げることができました。皆様のご協力ありがとうございました。



フラワーアレンジメント教室（女性部）
【2013年12月1日】

「しめ縄講習会に参加して」

四―一 中野 浩子

新年を迎える大切な行事に、きちんと気持ちを込めたしめ縄を飾りたいと思い参加しました。

今はなかなか手に入らない藁をたくさん用意して下さり、講師の高嶋さんからは、作り方はもちろん、飾り方、飾りの意味など丁寧に指導いただき、いつそう作る楽しさを味わえました。何度か参加されている方は、自分の家に合ったしめ縄を次々と作られ、手つきもあざやかでした。来年も是非開催してください。



しめ縄講習会（生活産業部）
【2013年12月8日】

「二〇一四年の三九郎」

五―三 寺沢 拓実



三九郎（子供育成会）
【2014年1月12日】

一月十二日は三九郎でした。最初は松集めで、親と車に乗って地域を回り、松かざりを一軒ずつ集めました。重いものもあり、苦勞したけど、松かざりをすっかり集められてよかったです。その後、公園に集合し、区長さんや育成会長さん、主事さんに教えてもらいながら、やぐらを組みました。そして、午後二時に点火しました。大ぜいの人が集まっにぎやかでした。今年もいい一年になればいいなと思いました。

「久しぶりの優勝」

二―三 中山 始



卓球大会（体育部）
【2014年1月26日】

一月二十六日、コミュニティセンターで卓球大会が開催されました。五チームが出場して予選を行った結果、私達のチームは予選を突破して決勝に進み、激戦の末、見事に優勝することができました。試合は笑顔あり、好プレーあり、珍プレーありの大変楽しい大会でした。この大会を通して区民との交流もでき、有意義な一日になりました。役員の皆様ご苦勞さまでした。

『サークル』コーナー

「七日市場の歴史を学ぶ会」

代表 丸山 政憲

《馬頭観音の調査から》

馬を葬った馬頭観音が、路傍に数々見られます。昔、農耕や運送の為に役立った馬への先人の思いが偲ばれます。しかし、堰下地区の及木堰の堤当の馬頭観音群は、土砂に埋もれ、雑草に覆われた状態でした。昭和五十二年に現地に移転され、河川を整備した以後のことと思います。

先人の文化遺産として大切にしようとして、昨年十月に会員の協力で掘り起こしました。今後、更に適切に対応したいと思えます。



「七日市場の歴史(第三十回)」

昭和中期の七日市場②

曾根原 孝和

公会堂の増改築 昭和二十四年(一九四九)に公会堂が増改築されました。二月の初集會に、青年會から卓球場を作ってほしいという提案を受けて協議をした結果、建物の面積を二倍にすることにしました。

初集會後、評議員會を開いて方向を確認し、建築委員會を何回か開き、隣組等の意見も聞いて推進しています。そして、工事の内容は、西半分の板の間、玄関、炊事場、小會議室二部屋の増改築としたのです。

費用は、区民の淨財寄付と北沢山林組合等の配分金、併せて十一万円余という当時としては巨額の建築費を投じて、完成竣工をみたのです。なお、区民の勤労奉仕を各隣組単位で一日行い、区民挙げての大作事であったことが分かります。

増改築前のこと 公会堂は、江戸時代の郷藏(明和元年(一七六四)の建て替えでは5間×5間)を改修しながら使ってきました。明治二十六年の記録には、囲藏、集會所、舞台藏(倉)がみえます。その後、大正十三年に



増改築等の声があり、十五年に東半分が増改築されました。

舞台倉の移転 写真は、二十四年増改築完成時の玄関前での記念写真です。玄関前には三本松が見え、左に見えるのが舞台倉です。舞台倉は、昭和五年にこの地で改築され、昭和三十六年には公民館の南側に移転されました。さらに平成八年、コミュニティーセンター建設時に、諏訪神社境内に移転されました。

編集後記(体育部)

寒気がことのほか身に凍みて、まさに寒さ極まる感が一層増す今日この頃です。

本年度の各部の行事もほぼ終了し、沢山の方々にご参加、ご協力いただきました。楽しく無事に終えることが出来ましたことを感謝いたします。

役員となつて一年間、多くの行事に携わってきました。公民館行事が多いなと思いましたが、多くの参加者募集が難しい反面、参加者の笑顔を見れば良かったなと思ひ、行事の大切さを知りました。みなさんも積極的に参加してみてください。結構楽しいですよ。

また、好評の七日市場地区公民館ホームページにおいても、これからもタイムリーな情報をお届けしていきますので、宜しくお願ひします。

最後に、これからも「地域の人々がふれあう『なのかいちば』」であり続けて欲しいと思います。

七日市場地区公民館報
ふれあい なのかいち2014年2月9日
Vol.12 No.3 第35号

【発行所】七日市場地区公民館
 【発行人】丸山 正博
 【監修】齊藤 勝男
 【編集人】松尾 学
 【編集委員】
 江崎 卓 (文化部)
 塚田 由美 (体育部)
 松下ゆかり (生産部)
 小山 愛 (女性部)
 木船 章 (ボランティア)
 花岡 正明 (ボランティア)
 松尾 常德 (ボランティア)
 丸山 博幸 (ボランティア)